令和 8 年度第 2 回 病院 ERU 要員（電気部門）実技研修　開催要項

1. 研修目的

日本赤十字社（以下、日赤）は近年の人道危機の複雑化・激甚化の状況を踏まえ、日赤の緊急即応体制強化および拡充を目的として、病院緊急対応ユニット（病院 ERU※）の導入・整備を決定し、2020 年に電気設備を含む病院 ERU が整備された。これまで本研修は、外部協力業者のサポートのもと 2 回開催され、病院 ERU の運営において電力管理の中心となる要員の育成が行われた。しかしながら未だに電気設備を専門に扱う要員数は十分とは言えず、当該要員の育成は急務である。

本研修では「病院 ERU の電気系統資機材取扱い」に焦点を当て、現場で求められる知識と技術を習得する。　※緊急対応ユニット（Emergency Response Unit：ERU）

2. 研修概要

1）目標

病院 ERU を円滑に運営するため、参加者が電気部門の要員に必要とされる電気の取扱いに関する知識・技術を実技を通じて習得する。

2）内容

・病院 ERU 電気設備の概要説明及び設置運用方法の説明
・電気設備の運搬及び仕分け、分電盤の組立から接続
・電気設備使用時の点検と設備保管時の点検
・電気設備の通常運転・送電・発電機切り替え
・電気設備異常時の対応
・電気設備の片付け

＊詳細は以下の表参照

	午前	午後
1 月 28 日(木)	ＥＲＵ電気設備（机上、実技） • オリエンテーション • 電気設備の概要 • 使用電気設備準備運搬	ＥＲＵ電気設備（机上、実技） • 使用電気設備準備運搬 • 電気設備仕分 • 分電盤組立 • 電気設備設置
1 月 29 日(金)	ＥＲＵ電気設備設置（実技） • 電気設備設置 • 電気設備ｹｰﾌﾞﾙ敷設接続	ＥＲＵ電気設備設置（実技） • 電気設備設置 • 電気設備ｹｰﾌﾞﾙ敷設接続 • 電気設備設置時点検 • 電気設備使用時点検 • UPS 設置
1 月 30 日(土)	ＥＲＵ電気設備運転（実技） • 発電機の切り替え • トラブル対応 • 片付け	ＥＲＵ電気設備運転 • 片付け • 質疑応答

3. 参加者

3～6 名程度（最少催行人数 3 名）

4. 参加者選出要件

全日程参加できる者で、下記要件 1)、2)のいずれかを満たす職員。

※ 参加に際して上記以外に条件は特にありませんが、応募者多数の場合は電気関連の資格の有無、語学力、ERU の活動経験などを考慮します。

1）国際救援・開発協力要員（国際要員）として登録されており、今後電気供給部門の技術要員として活動する意思があること

2）-1　国際救援・開発協力要員（国際要員）として登録を目指しており、登録後、電気供給部門の技術要員として活動する意思があること

2）-2　本研修終了後 3 カ月以内に、国際赤十字・赤新月社連盟の e ラーニングサイトにて所定のオンライン教材を修了し、病院 ERU の電気関連技術部門の国際要員として正式に登録される意思があること

e ラーニングサイト：IFRC Learning platform login page and free registration

※参加希望者は事前学習として以下ア～ウの同上オンライン研修を修了していること

修了証提出〆切：1 月 21 日（木）

ア. 国際救援・開発協力要員研修 I　The World of Red Cross and Red Crescent (WORC)

イ. 安全管理研修 I （IFRC Stay Safe 2.0 Global Edition レベル 1/レベル 2）

ウ. 日本赤十字社緊急病院緊急対応オンライントレーニングコース（ERU）

※登録に必要なオンライン研修は順次情報提供していくこと

5. 講師

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　国際医療救援部　新居優貴

清水赤十字病院　医療技術部　臨床工学技術課　成田圭亮

東京都赤十字血液センター　事務部　小笠原大策

6. 開催日時及び開催場所

開催日時　令和 9 年 1 月 28 日（木）10：00～　1 月 30 日（土）16：00（予定）

※当日 9：45 より受付を開始いたします。

開催場所　日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

日赤愛知災害管理センター（〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町 2-9）

7. 参加申込方法

別紙様式により、令和 8 年 12 月 9 日（水）までに日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院国際医療救援部宛＜kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp＞、電子メールにて送付願います。

8. その他

1）参加の可否については、12 月下旬までに通知いたします。

2）本研修参加に係る経費については、日本赤十字社支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となるため、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の扱いについては、日本赤十字社旅費規則に基づき支給すること。（令和 7 年 10 月 27 日付「人企第 142 号「日本赤十字社旅費規則の改正等について」参照）

3）作業のできる服装、運動靴、手袋（皮手袋か軍手）を持参ください。

4) 使い慣れた工具を使用したい場合は、それを持参ください。
5) 参加費（受講料および資料代）は無料です。
6) 病院 ERU 電気系統資機材の組み立てから撤収まで実技訓練であることから、研修の時間配分及び終了時間に変更が生じる可能性があります。また、参加者の電気に関する知識や技術により一部研修の内容を変更する可能性があります。
7) 研修は、マスクの着用、手指消毒の徹底などの感染対策を講じて行います。
8) 開催を中止または延期する可能性があります。（定員割れ、感染症の拡大など）

問い合せ先
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
国際医療救援部　（担当　越智、白崎）
電話番号：052-832-5467（直通）
Email：kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp